



種子の準備を しましょう

米



初倉営農経済センター
今井 義之

今年も水稲の播種の時期がやってきました。種子伝染性病害の発生を抑えるために、種子消毒を必ず行いましょう。作業手順をもう一度確認し、良い苗を作りましょう。

《塩水選》

塩水の比重を利用して不良種子を取り除く方法です。浮いたもみやゴミを取り除き、沈んだもみを回収します。購入した種もみも実施しましょう。

《水洗い》

塩水選で沈んだもみは流水でよく洗ってください。水洗い後は、手にべとつかない程度に水を切ります。

塩水選の濃度（水10ℓ当たり）

種別	うるち	もち
比重	1.10kg	1.06kg
並塩	1.55kg	0.90kg
硫安	1.98kg	1.10kg

《種子消毒》

薬剤浸透効果を高めるため、目の粗い袋に7分目程

入れたら、下の表の薬剤を24時間浸漬します。

《浸種》

積算温度で100〜120℃を目安に、停滞水で3日間（7時間）浸種させ

薬剤名	希釈倍数	適用病害虫
テクリードCフロアブル	200倍	ばか苗病、もみ枯細菌病 苗立枯細菌病、褐条病
スミチオン乳剤	1,000倍	イネシンガレセンチュウ

種もみの量	4kg	10kg	20kg	40kg
水の量	8ℓ	20ℓ	40ℓ	80ℓ
テクリードC	40mℓ	100mℓ	200mℓ	400mℓ
スミチオン	8mℓ	20mℓ	40mℓ	80mℓ

ます。酸素不足にならないよう水の交換をしましょう。

《催芽》

「細菌病」や「ばか苗病」予防のため、高温にならないように28〜30℃を守りましょう。

《播種》

播種量は催芽もみで、1箱あたりコシヒカリ150g、その他品種は180gとします。厚播きだと弱い苗になってしまったり、病気が出やすくなるので注意しましょう。